

ディスクロージャー資料

J A大井川 平成29年度上半期経営状況のご案内

1 JAの地域貢献

当JAは、藤枝市、焼津市、島田市、川根本町を事業区域として、農業者を中心に地域の皆様とお互いに助け合い、発展していくことを共通の理念として運営される協同組織であり、管内農業・地域社会の活性化に資する地域金融機関です。

皆様からお預かりした貯金等の資金は、資金を必要とする組合員や地域の皆様に融資すること等を通じて、事業や暮らしのお手伝いをさせていただいております。

「農業を核とした新しい協同組合活動の展開」、「地域社会に貢献する組織体であることの再認識」、「信頼と満足が提供できる近代的経営体を追求」を経営理念として、農業の発展と健康で豊かな地域社会の実現に向け、金融事業ばかりでなく総合的に事業活動を行っています。また、農業や助け合い活動を通じて、次のような地域社会・文化への貢献に努めています。

◆農業振興と地域・文化への貢献

地域農業の維持発展と農業経営の向上を目指し、新規就農者や担い手の育成、団塊世代の帰農支援等のため、「あぐりセミナー」、「農業経営支援事業」等を積極的に行っています。

また、地域社会から必要とされるJAを目指して、「食と農」を基軸に、地元幼稚園・小学校との野菜作り、地域生産者の作業支援、朝市グループとの交流、地域行事への参加、交通安全啓発運動、地域清掃活動、支店だよりの発行等、支店ごと多彩な「協同活動」に取り組んでいます。さらに、青壮年部・女性部・職員が力を合わせ河川敷の清掃活動等に取り組んでいる他、高齢者支援として公共施設等において、女性部と職員が協力して「ミニデイサービス」の開催や特別養護老人ホームへのボランティア活動にも積極的に取り組んでいます。

2 金融再生法開示債権（単体）

当JAの金融再生法の開示区分に基づく債権額は次のとおりです。
今後も厳格な資産自己査定を実施し、資産の健全化に努めていきます。

（単位：百万円）

債 権 区 分	平成29年3月末	平成29年9月末	増 減
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	537	485	▲ 51
危険債権	1,043	1,024	▲ 19
要管理債権	-	-	-
合 計	1,580	1,509	▲ 71

（注）1. 平成29年9月末の計数は、平成29年8月末を基準日として行った資産自己査定結果（債務者区分及び債権額）を基準としています。

2. 各債権の定義は次のとおりです。

- ①「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。信用事業に係る総与信（貸出金、信用未収利息、信用仮払金、債務保証見返、貸付有価証券、外国為替（以下、同様））のうち、資産自己査定で破綻先及び実質破綻先に区分されたものが該当します。
- ②「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受け取りができない可能性が高い債権です。信用事業に係る総与信のうち、資産自己査定で破綻懸念先に区分されたものが該当します。
- ③「要管理債権」とは、3か月以上延滞債権（元金、又は利息の支払いが、約定支払日の翌日を起算日として3か月以上延滞している貸出債権）及び貸出条件緩和債権（経済的困難に陥った債務者の再建、又は支援を図り、当該債権の回収を促進すること等を目的に、債務者に有利な一定の譲歩を与える約定条件の改定等を行った貸出債権）です。

3 単体自己資本比率（国内基準適用）

当JAの自己資本比率は平成29年9月末15.17%程度と国内基準4%を大幅に上回る水準を維持しています。

平成29年3月末	平成29年9月末（見込み）
15.46%	15.17%

(注) 1. 自己資本比率とは、貸出金等の総資産に占める自己資本の割合を示すもので、経営の安全性、健全性等を表す代表的な指標です。国内のみで営業を行う金融機関には4%以上が求められています。

$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{自己資本の額（出資金や利益準備金、積立金、剰余金等の合計額）} \times 100}{\text{リスク・アセット（当JAの所有する預金や貸出金、有価証券その他の資産にそれぞれ定められた一定のリスク・ウェイトを掛けて計算した総額）} + \text{オペレーショナルリスク相当額}}$$

2. 平成29年9月末の自己資本比率の算出にあたり、仮決算の当期剰余金は法人税等見込み額控除前の数値を使用しています。信用リスク・アセットの一部は、平成29年8月末を基準として行った資産自己査定結果に基づいて計算しています。また、オペレーショナル・リスク相当額は、直近決算における数値を使用しています。

4 主要勘定の状況

（単位：百万円）

	平成28年9月末	平成29年3月末	平成29年9月末
貯 金	523,680	524,094	539,438
貸 出 金	177,325	180,904	180,786
預 金	321,952	319,427	333,414
有 価 証 券	35,800	36,957	37,321

(注) 平成29年9月末の残高は帳簿価額を、平成29年3月末の残高は貸借対照表計上額を表示しています。

5 有価証券等の時価情報

（単位：百万円）

	平成29年3月末			平成29年9月末		
	帳簿価額	時 価	含み損益	帳簿価額	時 価	含み損益
満期保有目的の債券	499	503	3	399	402	2

（単位：百万円）

	平成29年3月末			平成29年9月末		
	取得原価	時 価	評価差額	取得原価	時 価	評価差額
そ の 他 有 価 証 券	34,703	36,457	1,753	36,921	38,547	1,626
債 券	34,503	36,269	1,765	33,918	35,442	1,524
そ の 他	200	187	▲ 12	3,003	3,104	101

(注) 1. 満期保有目的の債券、その他有価証券で時価のあるものを表示しています。
2. 平成29年9月末の含み損益・評価差額は、平成29年9月末時点の帳簿価額・取得原価と時価との差額を表示しております。
3. 子会社株式で時価のあるものはありません。

(注) 本資料中に表示している数値は単位未満を切り捨てていますので、合計が内訳数値の合計と一致しない場合があります。